

個別施設計画

策定年月 | H31.1

施設名	テレポート岡山			所在地	岡山市北区大内田675		
敷地面積	3,702.04 m ²			棟数	2 棟 (計画記載対象 1 棟)		
延床面積	5,322.05 m ²				※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	県内の情報拠点施設として、県内中小企業の情報化の促進を図る。						
【想定される自然災害】							
予想震度 5強～6弱		津波		—		浸水	
—		—		—		—	
建築規制	市街化区域 準工業地域 建ぺい率70%、容積率200%						
エネルギー使用量 (2017年度)	電気	ガス	水道	燃料 (A重油)			
	1,942,052 kWh	— m ³	1,613 m ³	1,180 ℓ			
管理上の 特記事項	敷地内未利用地なし 情報通信関連企業等への賃貸を行っている。						

1. 施設内建物の概況

名称	テレポート岡山		
築年(西暦)	1991年		
構造	鉄骨鉄筋 造 地上6階 コンクリート 造 地下1階		
建築面積	814.26 m ²		
延床面積	5,277.95 m ²		
主要な用途 (室名等)	貸室35室 1,964m ² 管理者用・倉庫等 1,193m ²		
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 電力設備(非常用発電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 中央監視制御装置 給排水設備 消火設備 昇降機		
利用状況	高		
耐震性 ※1	有		
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	—	
	中性化 ※3	—	
	建物傾斜 ※4	適	
長期使用の適否	地盤沈下 ※5	適	
	該当なし		
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)			

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≥0.6(震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

劣化が進んでいる設備等の修繕・改修を行い、施設を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
テレポート岡山	・設備等の修繕・改修を行い、長寿命化を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

劣化が進んでいる設備等の修繕・改修を順次行う。

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
テレポート岡山	設備等の大規模改修		設計	受変電設備・直流電源装置・蓄電池2					LED照明		
	設備等の定期更新(修繕・改修を含む)			設計	屋上防水・外壁タイル等	外壁シーリング		自動火災報知設備	屋内消火栓	5F・6Fエアコン・全熱交換器	給排水ポンプ
				5Fエアコン・全熱交換器				エレベーター			
						ゴンドラ					

4. 概算費用

総額6億円(設備更新等)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R5.2	設備等の定期更新(自動火災報知設備等)のスケジュール変更
R6.3	設備等の大規模改修のスケジュール追加(LED照明設備更新)